



発行所

山形新聞社

〒990-8550
山形市旅籠町2-5-12
総合案内 023(622)5271
読者センター 023(622)5666
(平日9時30分～17時30分)

(c)山形新聞社2021

2021年
9月15日
〈水曜日〉

電子
速報版



特別号外

■やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

北朝鮮 弾道ミサイル発射が



政府は15日、北朝鮮から弾道ミサイルの可能性があるものが発射されたと発表した。日本の排他的経済水域（EEZ）外に落下したとみられる。韓国軍合同参謀本部は、北朝鮮が15日午後、中部の内陸地域から日本海に向けて弾道ミサイル2発を発射したと明らかにした。

日本海EEZ外に落下

北朝鮮は8月に行われた米韓合同軍事演習に強く反発し、対抗措置を警告していた。相次ぐ発射は軍事力を誇示して米韓をけん制するとともに、内部の結束を図る狙いがありそうだ。

菅義偉首相は官邸で

記者団に「わが国と地域の平和と安全を脅かすものであり言語道断だ。国連安全保障理事会決議に違反しており、厳重に抗議するとともに強く非難する。米国や韓国をはじめとした関係国と緊密に連携する」と述べた。15

日中に国家安全保障会議（NSC）を開催すると明らかにした。首相はこれに先立ち、情報収集・分析に全力を挙げ、国民に迅速・的確な情報提供を

行うことや、航空機や船舶の安全確認の徹底、不測の事態に備えた態勢整備も指示した。防衛省は「北朝鮮による弾道ミサイルなどの度重なる発射は、わが国を含む国際社会全体にとって深刻な課題だ。国民の生命・財産を守り抜くため、引き続き情報の収集・分析および警戒監視に全力を挙げる」とのコメントを出した。

購読・試読のお申し込みは

フリーダイヤル 0120-81-8040